

広島大学工学同窓会 大阪支部 2018年(平成30年) 季報 夏号 送付の件

大阪支部
支部長 高垣宜和

残暑お見舞い申し上げます。

今年は、6月18日の大阪北部地震、平成30年7月豪雨、逆行する台風12号、40℃を超える異常な猛暑と、自然の脅威を改めて痛感しています。
特に7月の豪雨では、広島県、岡山県など西日本を中心に大きな被害がでておりますが、皆さん自身また知人や親戚の方はいかがでしょうか。
この災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私の広島市安佐南区の実家は幸いにも被害はありませんでしたが、東広島在住の弟に聞くと、呉や東広島、三原などは土砂崩れ・土石流による甚大な被害に加え、公共交通機関の寸断やライフライン停止などで日常生活へ大きな影響が続いているようです。本当に一日も早い復旧を願うばかりです。

さて、広島大学工学同窓会大阪支部 2018年(平成30年)季報 夏号をお届けします。

今回は、本部総会の議事録がメインとなります。

「工学部の現状と課題」の説明、「世界と日本の食料事情ー工学と微生物が農業を変革するかもしれないー」というテーマで立命館大学生命科学部の久保幹教授の講演がありました。久保教授は、滋賀県支部に所属で大阪には近いので、大阪支部総会での講演について快諾いただきました。先生の予定が合えば次回(2019年3月)の支部総会でご講演いただく予定ですので、詳しい話が聞きたい方は、次回の大阪支部総会に是非参加してください！他に本部だよりを添付していますのでご覧ください。

敬具

【添付資料】

1. 【本紙】170728夏号レジュメ
2. 【資料1】本部だよりNO.19(2018-1)号
3. 【資料2】2018年度広島大学工学同窓会総会議事録
4. 【資料3】工学部・工学研究科の現状と課題(20180526)
5. 【資料4】広島UCSホークス(アメリカンフットボール)

「本部だより NO.19(2018-1)」をお届けいたします。

同窓会 HP <http://hiro-kogyokai.com/>にこれまでに送付した「本部だより」を掲載しています。

【平成 30 年度社員総会について】

5月27日(日)に広島大学工学同窓会社員総会がANAクラウンプラザホテル広島にて開催されました。午前中は第55回支部長会、午後から物故会員慰霊式、記念講演会、社員総会、懇親会が開催され、約100名の参加者がありました。社員総会の前には工学部教員表彰に続いて、支部長表彰、会員表彰が行われました。その後、会員資格を情報科学部卒業生にも拡大する定款の変更を承認した後、例年通り、平成29年度事業報告、決算報告、役員承認などが行われました。今年は羽山会長が退任され、三浦副会長が新会長に選任されました。その詳細は8月8日刊行予定の広島大学工学同窓会誌第141号に掲載されます。

【工学部の動向と工学部創立百周年記念行事について】

「本部だより NO.16(2017-2)」でもお知らせしましたが、広島大学工学部は平成30年度に改組があり、第四類輸送機器環境工学プログラムが第一類に移動し、第二類電気電子・システム情報系プログラム内の情報工学課程が新設された情報科学部に移動しました。

次に、広島大学工学部は2020年度に創立百周年を迎えます。河原能久工学研究科長・工学部長の資料(平成30年5月27日全国支部長会)によりますと、工学部では現在、以下の行事を計画しているとのことでした。

(1) 記念講演・記念式典・記念祝賀会の開催：実施日：2020年5月(予定)

(2) 記念オブジェの制作：設置場所は管理棟西側。デザインについては学生などから募集予定。大久保副学部長を中心に検討中。

(3) 記念誌の作成：現在実施WGメンバーを選考中。

これに伴い、本同窓会では先の社員総会において、母校工学部の百周年記念行事を支援するため、平成30年度の予算に1,000万円を組み込むことを決定しました。オブジェが完成しましたら、同窓会誌の表紙で紹介したいと考えていますが、どのようなものができるのか今から楽しみにしているところです。

【情報科学部看板除幕式と発足祝賀会】

平成29年11月20日に平成29年度第三回理事会が開催され、情報科学部(工学部第

二類情報工学課程より移行) 卒業生への会員資格拡大が決定されたことは、既にお伝えしました。大学では新年度からの情報科学部発足に伴い、4月2日に情報科学部看板・石碑などの除幕式が、5月23日には祝賀会が盛大に開催され、専務理事が出席しました。

[第四期社員選考について]

平成30年度は第四期社員選挙の年にあたります。各支部および一般会員から社員候補者を推薦(締切7月4日)していただき、社員候補者選考委員会(7月12日)で最終候補者を選出した後公示をし、各会員に信任をいただくという手続き(異議申し立て期間は9月1日~9月末日)を経ることとなります。現在、一般会員には同窓会ホームページにて、候補者推薦のお願いをし、各支部には支部長宛の社員候補者推薦のお願いを郵送しています。

[工学部ホームページへの掲載について]

平成30年7月より工学部ホームページ「活躍する先輩からのメッセージ」に第11組目の中川直樹さん(Ⅱ5、中電プラント株式会社)と片岡義男さん(精49、太洋電機産業㈱)が掲載されています。いずれも広島大学工学同窓会から推薦された方たちです。広島大学工学部のホームページ <http://hiroshima-u.jp/eng/> をあけていただき、「活躍する先輩からのメッセージ」へ入って頂くと、過去の掲載分も含めて閲覧することができます。

母校の依頼を受けて同窓会では工学部ホームページへこのような形で掲載する原稿を募集しています。ご協力いただける方には執筆要領などをお送りしますので、同窓会本部事務局 hirokogy@bronze.ocn.ne.jp までメールをお送りください。

[平成30年度新入生歓迎講演会について]

広島大学工学同窓会主催の「平成30年度新入生歓迎講演会」が4月6日に工学部新入生(約450名)と情報科学部新入生(約80名)に対して二回開催されました。講師は株式会社喜多屋会長木下茂氏(醜32)です。木下氏は酒づくりと人づくりを重ね合わせながら、先輩としての期待を込めて話しかけておられました(写真)。

[平成30年度第一回先輩交流アワーについて]

広島大学大学院工学研究科の平成30年度第一回(通算第六回)講義「先輩交流アワー(旧名ようこそ先輩)」が、工学研究科の学生情報発信基地「おもしろラボ」で平成30年5月22日に開催されました(写真)。講師は同窓会が推薦した工学部卒業生の木本清士氏(Ⅰ61、株式会社ヒロテック)です。約30名の機械系大学院生が参加してくれました。「出来るだけNOと言わない。YESでチャンスがやってくる。YESには人が集まる。いつか人が助けてくれる。」とか「人を変えることは出来ない。自分が変わると人も変わる。」というような非常に印象的なお話が随所にありました。講演後は大学院生からの活発な質疑が行われました。



新入生歓迎講演会



先輩交流アワー

【第 20 回企業説明会を開催】

以下の内容で第 20 回企業説明会を開催しました。多くの企業に参加していただきました。売り手市場の状況ではありますが、多くの学生さんに参加していただき、熱心に質問しておられました。

開催期間：平成 30 年 3 月 2 日（金）、3 日（土）、5 日（月）

会場：広島大学東体育館

参加企業：2 日 99 社 100 ブース、3 日 99 社 100 ブース、5 日 97 社 100 ブース

合計 295 社 300 ブース

参加学生：2 日 431 名、3 日 402 名、5 日 349 名、合計 1,182 名



第 20 回企業説明会風景

【会員・支部・本部ニュース】

会員や支部ニュースがありましたら、本部宛てお送りください。HP トピックス欄に掲載いたします。最近トピックス欄に掲載した会員・支部・本部ニュースは以下の通りです。

詳細は同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/> をご覧ください。()は掲載日

- (1) 「支部だより」に茨城日立支部シニア会開催報告を掲載しました (2/8)
- (2) 「本部だより」に本部だより No.17 と No.18 を掲載しました(3/23)
- (3) 平成 30 年度 社員総会概要 (5/1)
- (4) 「支部だより」に関東支部「カープ応援企画 2018 第 10 弾」開催報告を掲載しました (5/9)
- (5) 「会員優待制度」のバナーを新設しました (5/9)
- (6) 会員の叙勲 (5/9)
- (7) 「支部だより」に平成 30 年度大阪支部の季報春号を掲載しました (5/17)
- (8) 「第四期社員候補者推薦のお願い」を掲載しました (5/30)
- (9) 「支部だより」に関東支部「カープ応援企画 2018 第 11 弾マリーンズ戦」開催報告を掲載しました (6/21)
- (10) 「支部だより」に滋賀支部「支部総会報告」を掲載しました (6/26)

【広島大学ニュース】

詳細は広島大学ホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html> ニュース & トピックス欄および工学部ホームページ <http://hiroshima-u.jp/eng/news> をご覧ください。()は掲載日

- (1) 「第 4 回木を活かす学生課題コンペティション」で工学部と工学研究科の学生がダブル受賞しました (2018. 3. 26)
- (2) 情報科学部・総合科学部国際共創学科設置記念講演会・記念式典・記念祝賀会を開催しました (2018. 5. 18)
- (3) 【受賞】化学工学専攻の都留 教授が 化学工学会 学会賞 池田亀三郎記念賞を受賞しました (工 2018. 4. 16)
- (4) 【受賞】情報工学専攻の中野教授が 電子情報通信学会フェローを受賞しました (工 2018. 4. 16)
- (5) 平成 30 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞 開発部門」および「若手科学者賞」に、広島大学から 4 人が受賞しました (工 2018. 4. 27)
- (6) 第 6 回 先輩交流アワーを開催しました (工 2018. 5. 23)
- (7) 【受賞】応用化学専攻の天下 教授が 平成 29 年度高分子学会賞を受賞しました (工 2018. 6. 11)
- (8) 【受賞】建築学専攻の千代 准教授が 2018 年日本建築学会賞(論文)を受賞しました(工 2018. 6. 25)

【資料2】

2018年8月12日

大阪支部 会員各位

平成30年度 広島大学工学同窓会 支部長会議・本部総会 報告

広島大学工学同窓会
大阪支部 高垣宜和

1. 概要

(1) 日時：2018年5月26日（日）10:00～

(2) 場所：ANAクラウンプラザホテル広島

(3) 内容

1) 全国支部長



2) 物故会員慰霊式

3) 定時社員総会

4) 懇親会

2. 全国支部長会

(1) 羽山会長挨拶

- ・本部だよりの充実、支部の活性化が工学同窓会の活性化につながるので、引き続き、会員、支部をサポートして行きたい。
- ・支援制度等があるので、支部活動の活性化にもっと活用してほしい。

(2) 事務局から（松尾専務理事）

- ・支援制度（会員交流支援制度、支部独自企画支援制度、十年会員支援制度）があるので、さらに活用してほしい。（昨年度は約2百万円の実績であった）
- ・支部の事務作業軽減支援で、支部総会案内郵送などの支援が可能なので、利用してほしい。
- ・新設された情報科学部（人文学部＋工学部Ⅱ類（情報工学））の卒業生も、工学同窓会の会員

資格者とする。（総会で決議する予定）

(2) 議事録署名人の選出

(3) 支部報告

- ・関東支部は、カーブ応援やサンフレッチェ応援企画（観戦）、他学部同窓生との交流など、活発に活動を実施。
- ・企業内支部は、定例会以外に新入社員の歓迎会、若年層のみの交流会等、工夫した活動を実施。
- ・企業内支部を卒業された方を受け入れる活動で、会員を増やしている支部があった。（東広島支部）
- ・会員が高齢化している支部、参加者が固定化し活動も停滞しているところもある。

(4) 工学部・工学研究科の現状と今後の課題（広島大学大学院工学研究科長 河原能久 先生）

- ・課題としては
 - ・グローバル人材の輩出、学生の英語コミュニケーション能力の向上が必要。
 - ・博士課程工期の人材確保ができていない。
 - ・研究論文・研究費の増加、共同研究の強化が必要
- ・広島大学の現状
 - ・学生数：2,120人（広大10,810人の20%）
 - ・人文学部からデータサイエンスコース、工学部情報工学からインフォマティクスコースの2つの専門科目からなる「情報科学部」が新設。
 - ・第一類（150名）、第二類（90名）、第三類（115名）、第四類（90名）に加えて、新たに「工学特別コース（45名）」が新設。（1年生後期から本人の希望や成績により類に配属される）
- ・工学部の取り組み
 - ・グローバル化人材育成
 - ・留学支援制度（STARTプログラム、海外インターンシップなど）
 - ・TOEIC受験を卒業までに3回実施（卒業要件化：3年次以降で500点以上）
 - ・共同研究
 - ・マツダ、コベルコ建機等と共同研究講座を設置

◎工学部創立100周年記念事業

- ・2020年に工学部創立100周年となるので、記念事業を検討中。（記念講演、記念式典、記念オブジェ、記念誌等）

(5) 意見等

- ・若い人の関係をどう作るかが、工学同窓会の活性化に必要。（以下のようなアイデアはあるが・・・）
 - ・工学同窓会を学生にもっとPR、先生や学生間のネットワークで広める。
 - ・若い人のメリットとして、各社の役職者の話を聞ける良い機会である。
 - ・支部総会とは別に若い人を集める会を実施する。

3. 広島大学工学同窓会物故会員慰霊式

平成29年度 新霊 161名

4. 定時社員総会

(1) 表彰

- 1) 永年勤続教職員表彰 (6名)
- 2) 支部長表彰 (2名)
- 3) 会員表彰 (2名)

(2) 議事

- ・平成29年度事業報告および決算報告、平成30年度事業計画および予算が承認。
- ・平成30年度役員選任

5. 記念講演会 (立命館大学生命科学部生物工学科 教授 久保 幹 先生)

(1) 久保教授のプロフィール

学位：工学博士 (大阪大学)

専門：生物工学

略歴：

- 1983年 広島大学工学部第三類卒業 (室岡研)
- 1985年 広島大学大学院工学研究科博士課程前期修了
- 1985年 東洋曹達工業 (株) (現 東ソー) ・生物工学研究所
- 1992年 博士 (工学、大阪大学)
- 1992年 沼津高専物質工学科 講師・助教授
- 1995年 米国イリノイ州立大学医学部 文部省在外研究員
- 1997年 立命館大学理工学部生物工学科 助教授
- 2002年 立命館大学理工学部生物工学科 教授
- 2008年 立命館大学生命科学部生物工学科 教授

(2) 講演「世界と日本の食料事情－工学と微生物が農業を変革するかもしれない－」

- ・「安心・安全な農産物の生産」「日本農業の活性化」に関し『良い土とは何か?』を研究
- ・世界と日本の食料事情
 - モロッコ : 水がない、トマトは栽培できる
 - コンゴ : 水はあるが砂地、微生物は少ない、肉・昆虫を食べる
 - ケニア : 水がない、農薬は使わない、肉・ティラピアを食べる (不衛生)
 - ベトナム : 農薬は使わず牛の堆肥を活用、土がアルカリ性で悪い
 - インドネシア : 米が4回採れる、水はあり水田あるが全て手作業
 - 日本 : 水はある、水田あり機械も活用、農薬を使う
- ◎「地力は国力」であり、農業に必要な土と水が重要。
- ・本当に安心な農作物を生産するためにはどうすべきか
 - ・20世紀を反省して21世紀に生かす
 - ・環境汚染に対して「法規制」の強化
 - ・化学肥料
 - ・100年前に開発され50年前から農業を変えた。

- ・使用量は、日本271kg/ha、中国256kg/ha、米国170kg/ha と多い
- ・作物の生育が早く、コントロールしやすい。
- ・有機肥料に比べて、土中微生物が少ない。
- ・農薬
 - ・①韓国、②日本、③中国 で、日本は米国の7倍使用。
- ・硝酸イオン
 - ・硝酸イオン（硝酸性窒素）はブルーベイビー病の原因となる。
 - ・EUでは摂取量が制限されている。（222mg/日）
 - ・同じ野菜でも色が濃いと硝酸性窒素が高くなる。水耕栽培でも多くなる。
 - （例）

ビール	18mg/L
野菜ジュース	180mg/L
- ・カルシウム
 - ・土中のカルシウム濃度は、その土地の人の大きさに関係している。
 - ・野菜中のカルシウムが減少している。
- ・残留農薬
 - ・日本の基準は緩い。
- ・我が国の農業を活性化するためにはどうするのか
 - ◎微生物＝「土のエンジン」
 - ・有機栽培
 - ・有機栽培は地温が高い。（微生物が多い）
 - ・化学肥料を使用した土壌は地温が低い。
 - ・SOFIX（土壌肥沃度指標）の開発
 - ・土壌の肥沃度を19項目で数値化。（工学的アプローチ）
 - ・土壌鑑定ができるようにした。
 - ・数値化の事例
 - ・土壌中の微生物量の見える化
 - ⇒遺伝子（DNA）の量を指標として、微生物量の検量線を作成。
 - 平均：6億個/g
 - 低酸素：2億個/g
 - ・土壌中の窒素、リンの循環の見える化
 - ・SOFIXによる土壌改良
 - ・現状を知る→改良→微生物活性化→良い土→収量UP、良い品質
 - ・実績：20%の収量UP、20%の品質UP
 - ・SOFIX認証
 - ・農地の格付けを行って、良い農地を増やす

・まとめ

- ・世界の食料事情を改善するには、農業生産性を向上させる必要があり、水の確保と土壌の改良が重要。
- ・本当に安心な農作物を生産するには、化学肥料、農薬、硝酸イオン、カルシウム、残留農薬など、日本の農業でも考えるべき課題は多い。（日本の農作物であれば安心とは言えない）
- ・農業の活性化のために、「SOFIX（土壌肥沃度指数）」を活用する事が一つの方法である。



<久保教授の講演>

6. 懇親会

- ・越智学長の挨拶でスタート
- ・高垣の修士の研究室の教授であった室岡先生と卒業以来28年ぶりに再開できた。
- ・室岡先生から、記念講演をされた久保教授を紹介していただいた。(久保教授は室岡研の6年先輩でした)

以上



<懇親会>

<室岡先生（中央）・久保教授（右）と高垣>



工学部・工学研究科の 現状と今後の課題

広島大学大学院工学研究科長 河原能久



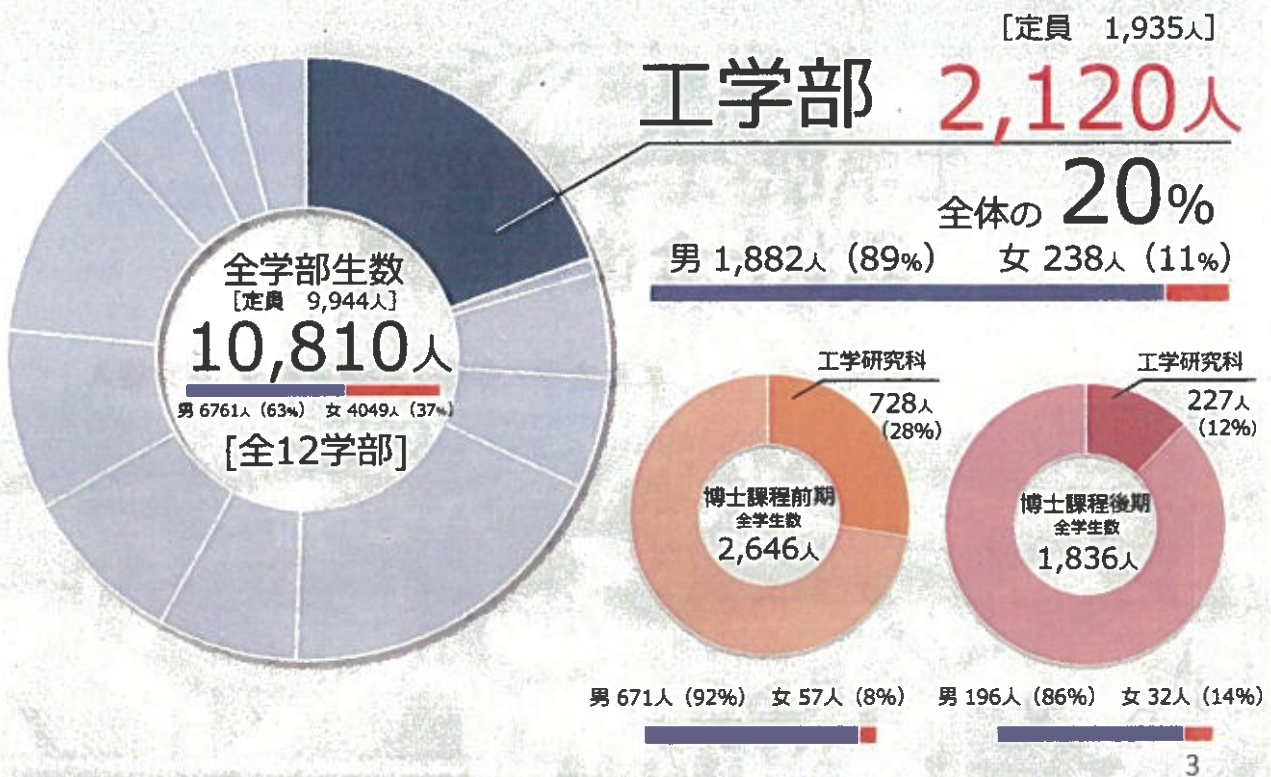
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/>

本日の内容

1. 工学部・工学研究科の現状
学生数, 工学部の改組
2. 工学部・工学研究科の課題
グローバル人材, 研究推進, 研究資金
3. 工学同窓会の支援を受けての活動
教育活動, 国際先輩交流アワー, HPでの情報
発信, 企業説明会, 施設整備
4. その他
100周年記念事業, 大学院改組

学生数

(2018年5月1日現在)



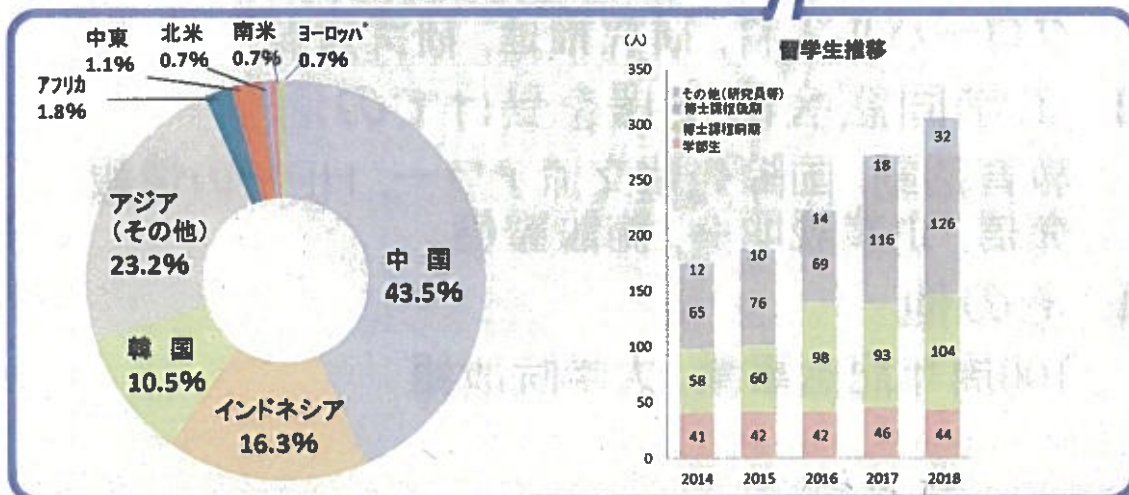
⊙ 後期に男子が多い

留学生数

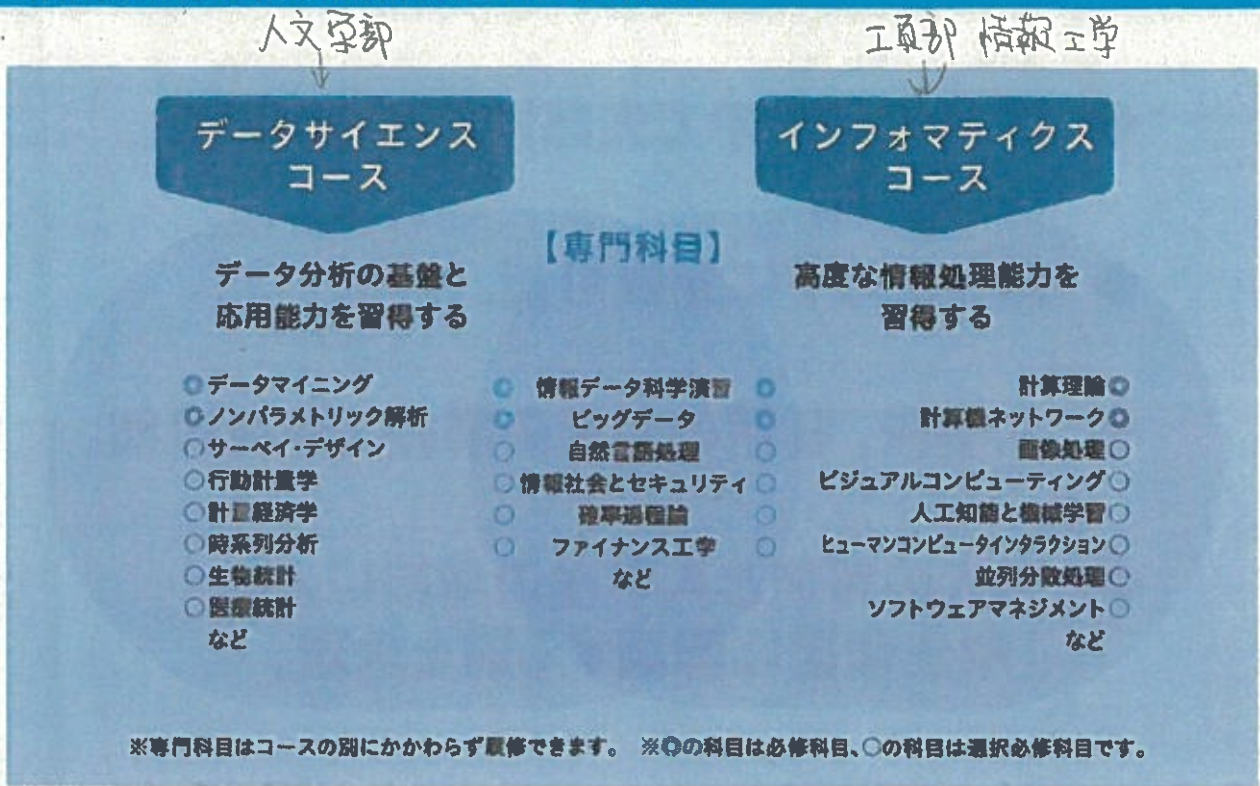
■ 2018年5月 在籍者数

	学部	博士課程前期	博士課程後期	研究生等	計
工学部・工学研	44	104	126	32	306
広島大学	75	709	490	386	1,660

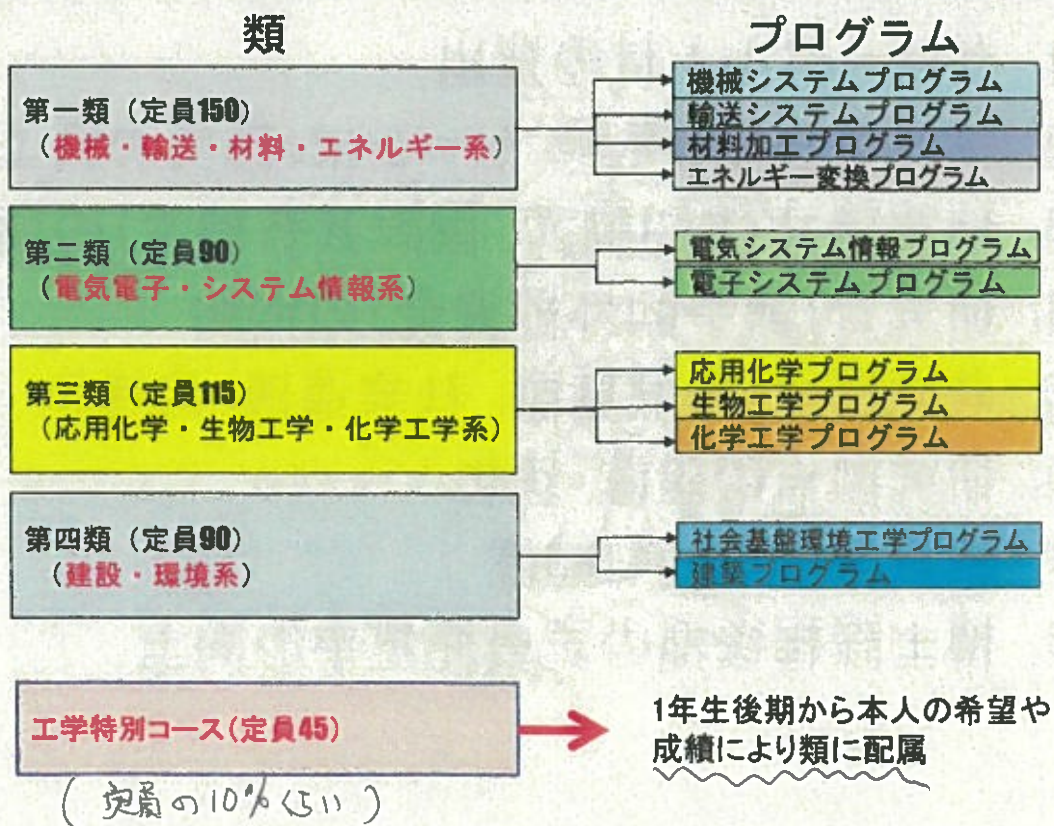
■ 工学部/工学研入学者の出身地別の割合



情報科学部の新設(2018年4月)



工学部改組(2018年4月)



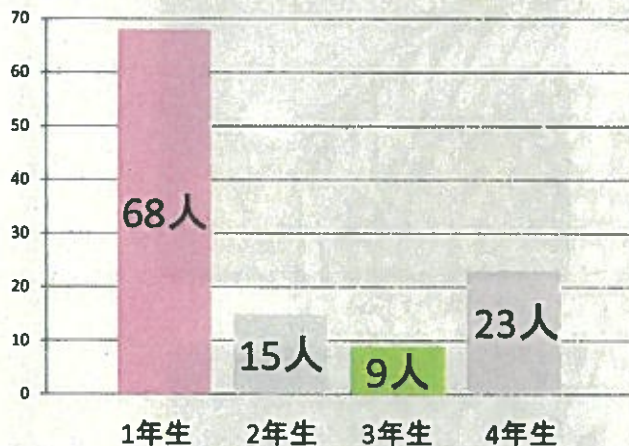
- ◆ 広島大学の中で先駆けて2018年度から導入。
- ◆ 類を決めずに受験可能。
- ◆ 入学後、各類の先生の講義を受講可能。
- ◆ 本人の希望と入学後の成績により、1年生後期に配属する類を決定。

工学部・工学研究科の課題

1. グローバル人材の輩出
2. 学生の英語コミュニケーション能力の向上
3. 研究論文(SCI論文, 国際共著論文)の増加
4. 研究費(競争的外部資金)の増加
5. 共同研究(地域貢献, 社会連携)の強化
6. 研究拠点の設置・強化
7. 教員の戦略的な配置 \rightarrow 20% cut/年
8. 博士課程後期の定員充足率の向上

グローバル人材育成

2017年度の学部生の海外留学



留学目的	人数
STARTプログラム	53
シドニー異文化体験ツアー	16
台湾中央大学との短期総合派遣プログラム	14
ILDP(国際リサーチ型学位プログラム)-START+プログラ	7
対日理解促進交流プログラム	4
JENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)2017	4
第8回EXETER ACADEMY 英語研修プログラム	4
Study Abroad Program 2018	3
短期交換留学(HUSA)プログラム	3
その他	11
合計	115

STARTプログラム: 学部1年次生が海外の協定大学で、現地学生との交流・ディスカッションを行い、日本と異なる文化、環境を体験することで、国際交流や長期留学への関心を高めることを目的)などのプログラムが活用されている。

グローバル人材育成

◎グローバル化に対応する人材育成事業

「国境を超えるエンジニア(ECBO)」プログラムにおいて、海外に進出している日系企業に学生を受け入れていただく。

(2017年度には4社、7名を派遣)

TOEIC 650点 → 今の水準あり

「海外共同研究」において、国際交流協定校へ1ヶ月程度派遣し、グローバルな環境での研究のあり方を学ばせる。

(2017年度には9カ国・17大学へ17名を派遣)

学会発表等支援事業において、国際学会での発表や、海外での活動を通じて国際感覚並びに先端かつ独創的研究力の向上をめざす。

(2017年度には11カ国・17大学等へ27名を派遣)

◎広島県ものづくりグローバル人材育成事業

広島県、県内企業、広島大学が連携して、留学生(博士課程前期)の受入れから県内企業への就職までを支援している。2018年度には7名を受け入れる予定。国(経済産業省・文部科学省)の「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業の一環でスタートし、今年で10年目を迎える。

グローバル人材育成

・海外インターンシップ



日本工営(ベトナム) 研修生1名



日本工営(ベトナム)



AAT(タイ) 研修生2名

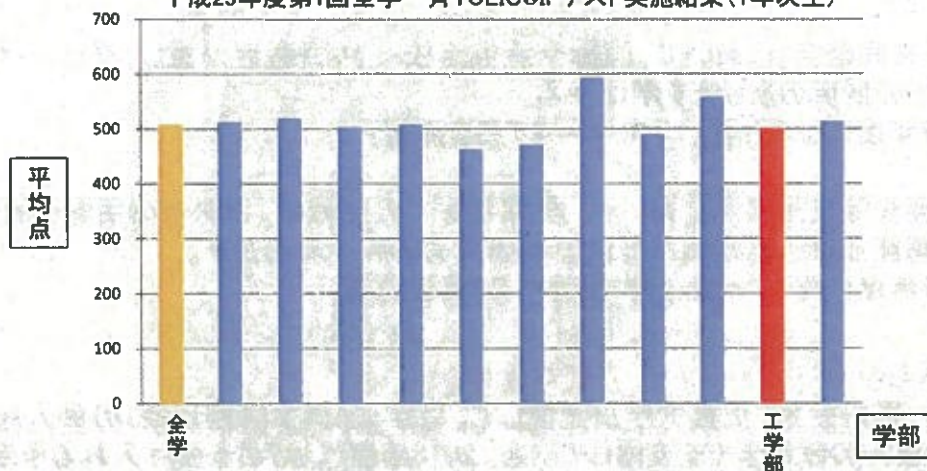


サタケ(タイ) 研修生1名

英語コミュニケーション能力(TOEICテスト)

- TOEIC(R) IP ・ 2003年度入学生より、**全学一斉**に実施 (2回)
- ・ 工学部独自に三年次に実施 (1回)
- ・ 卒業までに**計3回**実施 (点数の卒業要件化)

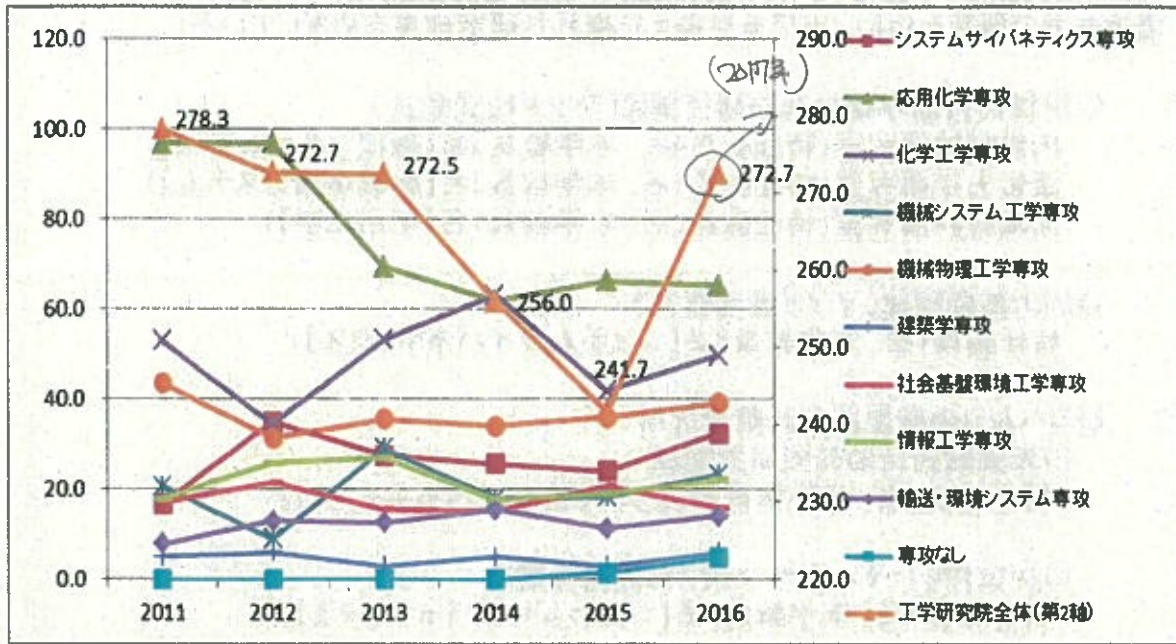
平成29年度第1回全学一斉TOEIC®IPテスト実施結果(1年次生)



- ・ 技術者に必要な英語コミュニケーション能力の強化が課題。
- ・ 2018年度入学生から卒業要件を強化。(TOEIC 500点以上)
3年次以降.

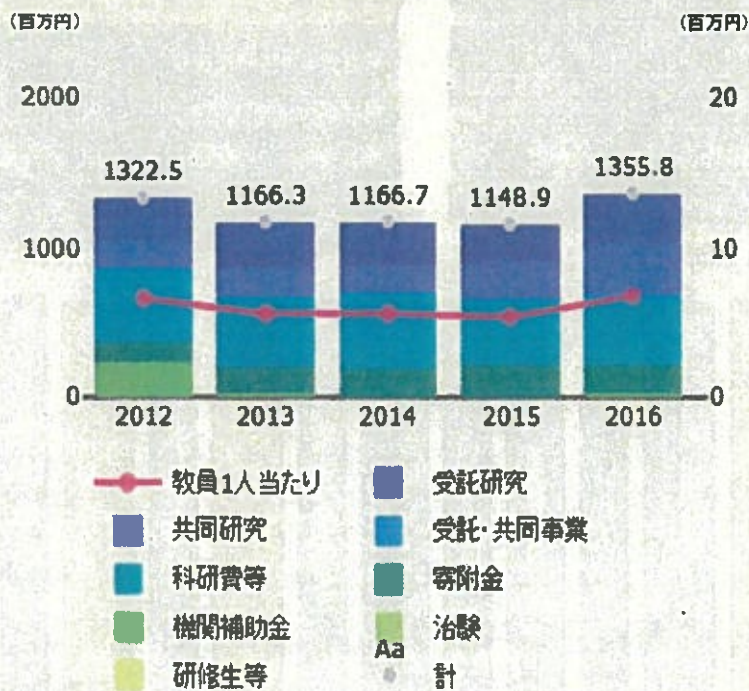
SCI論文数

SCI論文数の経年変化



外部資金

工学研究科



地域・社会連携

企業などから資金と研究者を受け入れて、広島大学内に設ける独立した研究組織（共同研究講座）を設置し、本学の教員と出資企業の研究者（特任教員）が対等な立場で共同で研究を行い、出口を見据えた優れた研究成果をめざしている。

◎次世代自動車技術共同研究講座(マツダ株式会社)

内燃機関研究室(特任教員4名、本学教員3名【機械システム工学】)
 空気力学研究室(特任教員1名、本学教員3名【輸送環境システム】)
 先端材料研究室(特任教員2名、本学教員1名【応用化学】)

◎MBD基礎講座(マツダ株式会社)

特任教員1名、本学教員2名【システムサイバネティクス】)

◎コベルコ建機夢源力共創研究所

○先端制御技術共同研究講座

特任教員2名、本学教員2名【システムサイバネティクス】)

○次世代ヒューマンインターフェイス共同研究講座

特任教員1名、本学教員2名【システムサイバネティクス】)

研究拠点

自立型研究拠点 (活発な研究活動を展開する研究拠点への支援を通じて、世界的研究拠点を継続的に創出)

- | | |
|----------------------|--|
| ●クロマチン動態数理研究拠点 | ●社会実装指向型HiSEMS拠点
代表:石井 抱 教授(システムサイバネティクス専攻) |
| ●ゲノム編集研究拠点 | ●キラル物性研究拠点 |
| ●肝臓・消化器研究拠点 | ●極限宇宙研究拠点 |
| ●うつ病の革新的診断・治療法開発研究拠点 | ●基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーション型研究拠点 |
| ●空素循環エネルギーキャリア研究拠点 | ●創薬・バイオマーカー拠点 |

一部関係

インキュベーション研究拠点 (戦略的に組織する自立した研究拠点へと成長させるための重点支援)

- | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|----------------|---|---------------|--|--------------|---------------------------------------|-------------------|---------------------|
| ●バイオシエックテクノマテリアル融合研究拠点 | ●MBR拠点
代表:大下 淳治 教授(応用化学専攻) | ●ダイバシオン・AI&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点 | ●「光」ドロックテリバーリ研究拠点 | ●プレート収束域の物質科学研究拠点 | ●教育ウイジョン研究センター | ●次世代を救う広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点 | ●広島大学医療経済研究拠点 | ●エネルギー超高度利用研究拠点
代表:西田 恵哉 教授(機械システム工学専攻) | ●創発的物性物理研究拠点 | ●機能性ナノ酸化物研究拠点
代表:完全 正洋 准教授(応用化学専攻) | ●広島大学健康長寿研究拠点(工医) | ●緊急被災に即時対応できる再生研究拠点 |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|----------------|---|---------------|--|--------------|---------------------------------------|-------------------|---------------------|

新入生歓迎講演会

広島大学工学同窓会主催にて2018年4月6日に開催。
松尾専務理事による工学同窓会の紹介の後、講演会を開催。

「酒づくり人づくり200年・次代を担う若人への期待」

(株)喜多屋・代表取締役会長

木下 茂 様(醗酵・昭和32年ご卒業)



HPを用いた情報発信・先輩交流アワー

工学部・工学研究科に入学を考えている受験生や在学生等に向けて、定期的に先輩方からご寄稿、ご講演を発信中。
「先輩からのメッセージ」は第10回目を、先輩交流アワーは第6回目を数えている。

今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

第10回 (2018年4月掲載)



専業することが大切
中国醸造株式会社 企画開発 酒造開発ディビジョン 開発主任
山本 昌博 さん
広島大学大学院工学研究科 博士課程前期工業化学専攻 修了



大学で学んだ知識が活かせる、やまびこ製品全数の電子制御技術開発の現場
株式会社やまびこ 電子制御研究課
上野 昌弘 さん
広島大学大学院工学研究科 博士課程前期システムワイヤレス専攻 修了

スマートフォンからご覧いただけます

広島大学工学部
ホームページ

<http://hiroshima-u.jp/eng>

HPを用いた情報発信・先輩交流アワー



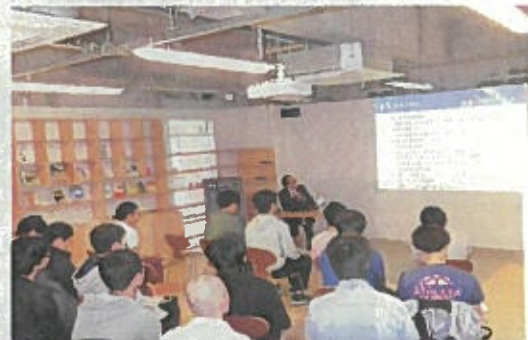
第3回 中国電力(株) 流通事業本部部长(設備システム)
水津 卓也 氏



第4回 菊池酒造(株) 代表取締役 菊池 東 氏



第5回 ㈱レールテック 取締役 兼 執行役員
広島支店長 江原 学 氏



第6回 ㈱ヒロテック 取締役 兼 ツーリング事業部
事業部長 木本 清士 氏

就職支援事業:企業説明会

2018年3月2日, 3日, 5日に, 本学東体育館で開催。
延べ295社のご参加、延べ1,182名の学生が参加。

毎年多くの企業の皆様に参加いただき感謝申し上げます。



施設整備支援



学生の自主的な学びや研究活動を支える情報発信を行う場(「おもしろラボ」)にプロジェクターなどの整備を支援いただいた。
「おもしろラボ facebook」にて学生の活動報告を随時更新中。



21

工学部創立100周年記念事業

1.事業の検討状況等

- 工学研究科運営会議において2017年(平成29年)5月から事業計画を検討・策定中。
- 事業の実施にあたっては、各事業責任者またはWG等により対応。

2.事業の内容(検討中)

- (1) 記念講演・記念式典・記念祝賀会の開催
実施日:2020年(平成32年)5月(予定)
- (2) 記念オブジェの制作
設置場所は管理棟西側。
デザインについては学生から募集予定。
大久保副学部長を中心に検討中。
- (3) 記念誌の作成
現在実施WGメンバーを選考中。

広島 UCS ホークス

日本社会人アメリカンフットボール協会 X3リーグ西日本所属



2017年はリーグ戦4勝で2位に大躍進！
毎試合、広島から遠征して戦っています。



2018年秋季リーグ戦 (X3 西日本 Bブロック)

9月2日(日) @エキスポフラッシュフィールド
15:00 VS 三重ファイアーバード

9月17日(祝) @王子スタジアム
13:40 VS 和光レイダース

10月7日(日) @鶴見緑地球技場
14:10 VS トライスターズ

10月21日(日) @王子スタジアム
17:10 VS 大阪府警シールズ

11月17日(土) @鶴見緑地球技場
16:20 VS エコリング J-STARS

(リーグ優勝した場合)
WEST2 CLASSIC (X2-X3 入替戦)
12月2日(日) @王子スタジアム
時間 対戦相手未定

神戸市王子スタジアム



- 〒650-0025
兵庫県神戸市王子2-2-1
- TEL 078-642-2225
- アクセス
JR有馬線 王子駅 徒歩10分
- バス
神戸バス 王子駅前バス停 徒歩5分

西日本



エキスポフラッシュフィールド



- TEL 〒565-0826
大阪府東淀川区千原万博公園
- TEL 06-6877-3767
- アクセス
大阪モノレール 万博公園駅
公園地下鉄から徒歩5分

西日本



鶴見緑地球技場



- TEL 〒535-0036
大阪府大阪市東淀川区
- TEL 06-69-5-7112
- アクセス
地下鉄東淀川線 鶴見緑地駅
鶴見緑地から徒歩5分

西日本

